

風土記の丘の花だより²²⁸

今、そしてこれから見られる植物(2024年3月23日)

園内のサクラを見てきました。エドヒガンは満開を少し過ぎていました。ヤマザクラが咲き始めています。オオシマザクラは春分の日に咲きました。さて、ソメイヨシノの開花はいつになるでしょう。あと少しかかるのか、暖かくなれば間もなく咲くのか、ワクワク、ドキドキですね。



さて、左に2枚の写真が載っています。左が仏の座、右がホトケノザです。あれ、どういうこと？左の黄色い方が、春の七草の仏の座で、本当の名前はキク科のコオニタビラコです。右のピンク色の方が本物のホトケノザ、シソ科の草です。本来、植物名はカタカナ表記が原則です。ですからこんなややこしい書き方をしたのです。七草がゆに入れるのは、もちろん左の方です。図鑑などに載っているカタカナで書かれた名前を標準和名といい、観察会や解説書などでは、その名前を使っています。



大池の西の堤に黄色い花がいっぱい咲いています。よく菜の花と間違えられるセイヨウカラシナです。漢字で書くと西洋辛子菜です。おでんや焼売につける辛子は、辛子菜の種子から作られます。その仲間の外来植物なので、こんな名前が付きまして。春になると川の土手などを黄色に染めるように咲くので春の風物詩になっています。試しに種子をかじったことがあります。さすがに辛子菜だけあって、ピリッと辛かったです。春の到来を感じさせるきれいな花ですが、やっかいな外来植物です。



先にも書きましたが、ヤマザクラの花がきれいに咲いています。このサクラは葉と花が同時に開きます。ソメイヨシノのような華やかさこそありませんが、独特の美しさがあります。最近、華やかなカワヅザクラがあちこちに植えられています。ピンク色の花はとても美しく、春の訪れを感じさせてくれますが、ヤマザクラには心を落ち着かせてくれる、しっとりとした美しさがあるように思います。

(別にカワヅザクラが嫌いな訳ではありませんけどね)



谷山家の庭でアオキの花が咲いています。といっても鑑賞に値するような花ではありません。写真中央にポチっと写っているのがそれです。アオキは雌雄別株です。これは赤い実がなっているので、この木は雌株、すなわち、この花は雌花です。雄株は少し離れていて、左隅の、山に入る小さな柵を入れてすぐ左側です。雌花とは大きさも姿も違う雄花が咲いています。余りお勧めしませんが、興味のある方は是非ご覧になってください。

松下